

防衛北海道

Bouei Hokkaido
April 2012
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense



Vol.21



Photo:厳冬の十勝野に空挺降下（第1空挺団）

編集・発行 **防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会**
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
Tel.011-272-7579
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

第6回 矢臼別演習場・風蓮川水系土砂流出 対策等検討委員会開催

2月23日、北海道防衛局において第6回矢臼別演習場・風蓮川水系土砂流出対策等検討委員会が開催されました。この委員会は陸上自衛隊矢臼別演習場内の風蓮川支流において、絶滅危惧種であるサケ科のイトウの産卵ふ化が確認されたことから、流域の環境保全に配慮した土砂流出対策の検討の資とする提言を得るため、平成20年5月に北海道防衛局と別海町が共同で設置したもので、今回で6回目の開催となりました。当日は、新谷 融 委員長（北海道大学名誉



スリット化した楓沢2号ダム



新谷委員長

教授)をはじめ有識者8名の委員が出席、前回までの委員会を踏まえ、玉川1号ダム及び楓沢2号ダムのスリット化に伴うダムの上下流における環境への影響評価、風蓮川水系における流域環境モニタリングの結果、土砂生産源対策工のあり方並びに玉川、楓沢以外のダムの今後の対策方針について議論が行われました。本委員会の議事要旨等は、北海道防衛局のホー

ムページに掲載しています。<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

スリット化工事

イトウなどの魚類が上流へさかのぼれるように、既設の砂防ダムのコンクリート断面に切れ込みを入れる(切り下げる)工事で、矢臼別演習場では風蓮川水系の上記2箇所のダムと別寒辺牛川水系のトライベツ川ダムにそれぞれ幅2mのスリット化工事を実施している。

全職員に入札談合防止に関する研修実施



講師：沼上経済係長
公正取引委員会事務総局
北海道事務所 総務課

1月30日及び2月6日の両日、北海道防衛局は札幌第3合同庁舎において「平成23年度入札談合防止に関する研修」を実施しました。

この研修は、入札談合等に関する不祥事の未然防止と法令遵守に係る職員の意識向上を図るため全職員を対象に行われ、昨年に続き2回目の実施となりました。講師に公正取引委員会事務総局北海道事務所総務課経済係長の沼上和秀氏を招き、初めに独占禁止法の目的と事業者による私的独占の類型行為などについて、続いて入札談合等関与行為の排除及び防止並びに入札等の公正を害すべき行為の処罰に関する法律(通称：官製談合防止法)制定の背景とその改正経緯、法の対象となる発注機関(職員)の漏洩事案などについて、説明が行われました。また、最近行った官製談合事案に係る入札参加業者らに対する排除措置命令や課徴金納付命令等についても事例を挙げて詳解し、物品の調達や工事等の発注業務を担う当局職員に入札談合防止に関する意識の向上を促しました。

なお、これに併せて総務部会計課より「平成22年度定期防衛監査の結果に基づく改善措置等に関する防衛大臣指示」における入札談合防止の取り組みとして、年度末に残予算の執行を過度に追求しようとするあまり、調達の公正性をゆがめかねないような無理な予算執行は厳に慎むことなどについて、改めて周知徹底が図られました。この研修は帯広防衛支局でも実施しました。



国連平和維持活動（PKO）に要員派遣

1月10日、陸上自衛隊岩見沢駐屯地（司令：野路1等陸佐）において、国際連合南スーダン共和国ミッション（UNMISS）の第1次要員（本部要員）として派遣される第12施設群第302坑道中隊長松崎3等陸佐の壮行会が行われました。渡辺孝一岩見沢市長並びに小林和男三笠市長をはじめ来賓の方々が御出席される中、松崎3佐は「自衛隊生活で培ってきたことを最大限に発揮できるよう、平常心を持って勤務していきたい。」と力強く抱負を述べました。国際連合南スーダン共和国ミッションの先遣隊（松崎3佐を含む34人）は、多くの期待と激励を背に同月14日、成田空港から首都ジュバへ向けて出発しました。この後2月20日、中央即応連隊（宇都宮駐屯地）主力の第1次要員第1波約120人が首都ジュバに到着し、先遣隊と合流して宿営地の整備などを行っています。また、3月下旬には主力第2波（約30人）が現地入りする予定で、本格的に道路補修等を行う第2次要員（5月頃に派遣予定）の受け入れ態勢を整えます。



全隊員に見送られる松崎3等陸佐

また、2月10日、大震災の復興支援を行うハイチ派遣国際救援隊の第6次要員第1波として、陸上自衛隊第2師団（師団長：平野 治征 陸将）第2施設大隊（旭川）、第25普通科連隊（遠軽）を中心に編成された約160人が、同月26日第2波として第2師団、北部方面施設隊（施設隊本部：南恵庭）などで編成された約150人が現地へ向けて民間チャーター機で新千歳空港を出発しました。第6次要員はハイチで約半年間の予定でがれきの除去などにあたります。

このほか北部方面隊は、現在、中東のゴラン高原にも要員を派遣しており国連平和維持活動（PKO）に積極的に取り組み、国際社会の平和と安全の維持に貢献しています。

第63回 さっぽろ雪まつり 陸上自衛隊・大雪像3基を制作支援



2月6日から12日までの間、雪と氷の祭典「第63回さっぽろ雪まつり」が札幌市の大通公園をメイン会場に開かれ、訪れた約205万4千人の観客に夢と感動を与えました。陸上自衛隊第11旅団は「さっぽろ雪まつり協力団」を編成し、大通公園4丁目会場に第1雪像制作隊（第11特科隊基幹）が「雪の水族館～海からの贈りもの～」を、7丁目会場には第2雪像制作隊（北部方面通信群基幹）が「タージ・マハル」を、8丁目会場には第3雪像制作隊（第18普通科連隊基幹）が東日本大震災からの復興を願い「会津鶴ヶ城」をそれぞれ制作しました。

今年の雪まつりで陸上自衛隊が運搬した雪は大型トラックで約千5百台、延べ約1万5千人の隊員が訓練として雪像制作などにあったほか、5丁目会場において大雪像制作の技術指導や音楽演奏などを行い雪まつり会場を盛り上げました。自衛隊は今年も道内各地の冬のイベントを積極的に支援しました。



制作：第18普通科連隊、第11戦車隊
第11施設中隊、第11通信中隊



制作：北部方面通信群、北部方面後方支援隊第101通信直接支援隊



制作：第11特科隊、第11後方支援隊、第11偵察隊
第11高射特科中隊、第11旅団司令部付隊

北海道には自衛隊等が使用する演習場・飛行場など、数多くの防衛施設が所在しています。これらの防衛施設は自衛隊等の活動の基盤として、北海道はもとより我が国の平和を守る上で不可欠であり、そのためには、周辺地域の皆様の理解と協力を得ながら円滑に使用していく必要があります。本誌では、防衛施設と周辺地域との調和を図るための様々な施策について、シリーズでご紹介しています。

■ 民生安定施設整備事業

飛行場や演習場などの防衛施設の設置又は運用によりその周辺地域の住民の生活又は事業活動が阻害されると認められる場合において、その障害の緩和に資するための生活環境施設や事業経営の安定に寄与する施設を地方公共団体が整備するとき、国（北海道防衛局）が防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づき、その整備に要する費用の一部を補助するものです。

事業内容

防衛施設の設置又は運用により周辺地域の生活又は事業活動が阻害される主な事例

飛行場の場合

- 緊急時の避難や救難活動のための公園などが必要と認められるとき
- 緊急時の消火活動を迅速に行うために消防自動車が必要と認められるとき
- 航空機の騒音により、児童が静かな環境の下で学習活動などができないと認められるとき

演習場の場合

- 演習場の存在や演習活動により農作業に支障をきたしたり、酪農事業への支障が認められるとき
- 海上での射撃訓練により、周辺の漁場で漁を行えず、漁業者の経営に支障をきたすと認められるとき

障害の緩和に資するための生活環境施設又は事業経営の安定に寄与する施設の整備

生活環境施設

- 無線放送施設
- 街灯
- 消防施設
- 公園・緑地
- 屋外運動場
- 水道
- し尿処理施設
- ごみ処理施設
- 体育館
- コミュニティ供用施設
- 救難施設
- 生活環境施設の改修工事
- まちづくり計画事業
- 統合事業（例：公園+道路）

事業経営の安定に寄与する施設

- 農業用施設（主なもの）
 - ・家畜飼養施設
 - ・集出荷施設
- 林業用施設（主なもの）
 - ・木材集出荷施設
 - ・チップ生産施設
- 漁業用施設（主なもの）
 - ・水産物荷さばき施設
 - ・製氷冷蔵施設

消防施設の事例：千歳市高機能消防指令センターの概要

平成23年4月に運用を開始した千歳市の高機能消防指令センターは、同市の防災機能の要として消防総合庁舎内に設置され、コンピューターやGPS（衛星を利用した位置情報測位システム）をはじめとする最新の情報通信技術が導入されています。これにより、119番通報の受付から災害場所の確認や消防車・救急車の出動指令、現場での状況把握など緊急出動による活動全般がより迅速で効率的に行えるようになり、災害による被害の軽減など、市民生活の安全確保に貢献しています。



高機能消防指令センター

民生安定施設整備事業の主な施設

公園

体育館

コミュニティ供用施設

消防施設

緊急時に、周辺住民が迅速に避難場所へ避難したり、地方公共団体が消防活動を迅速に行う必要があるときなど



消防ポンプ自動車

騒音・振動

演習場

射撃砲撃

航空機の頻繁な飛行

飛行場

ごみの排出

大量の水を使用

駐屯地

ごみの排出

農業用施設

漁業用施設

ごみ処理施設

水道施設

防衛施設の設置又は運用により、農業・漁業等の経営に支障が生じたり、飲料水が確保できなかったり、防衛施設から排出されるごみを安定的に受け入れる必要があるときなど



農産物貯蔵施設



水産物冷蔵施設



ごみ処理施設



浄水施設

第1空挺団・北方積雪地空挺演習を公開



1月21日、陸上自衛隊第1空挺団は冬期の積雪地における対応能力向上のため、十勝管内芽室町新嵐山南西側地域で空挺降下（パラシュート降下）訓練を公開しました。

この訓練は「北方積雪地空挺演習」の一環として行われ、当日は大型輸送ヘリコプター（CH-47）1機を使用、進入高度を対地高度約900mから対地高度約340mまで段階的に設定し、4回に分けて計108名の隊員が降下しました。また、訓練の合間には見学者に第1空挺団の任務・編成や落下傘の種類、全国各地における演習状況などについてブリーフィングを行ったほか、実際に使用しているパラシュートを展示しました。



第1空挺団の北方積雪地空挺演習は、地元第5旅団（帯広市）の支援を受け1月16日から31日まで、芽室町のほか同管内の鹿追町でも行われました。

第1空挺団 第1空挺団（団長 山之上 哲郎 陸将補）は、千葉県船橋市に在る習志野駐屯地に駐屯する日本で唯一の落下傘部隊であり、各種航空機からの降下等により機動を実施しております。平成16年に中央即応集団隷下となり、防衛警備（武力攻撃等への対処）、災害派遣、国際任務を主な任務としております。

第7艦隊旗艦「ブルーリッジ」 苫小牧寄港

2月3日、神奈川県横須賀港を母港とするアメリカ海軍第7艦隊の旗艦・ブルーリッジ（全長193.6m、全幅32.9m、排水量約19,200トン）が苫小牧港に友好親善のため寄港しました。寄港中、乗組員達は苫小牧スケートまつり会場でマーチングバンド演奏や雪山チューブ滑り、スケートボブスレーの補助などのボランティア活動を通じて多くの市民と交流を深めました。

また、さっぽろ雪まつり会場の大通公園では第7艦隊音楽隊による演奏が披露され、ジャズの名曲や映画「スター・ウォーズ」のテーマ曲などを演奏し、観客を沸かせました。

ブルーリッジは2月8日苫小牧港を出港しました。



アメリカ海軍第7艦隊音楽隊の演奏（さっぽろ雪まつり会場）



苫小牧港（勇払第1埠頭）に接岸したブルーリッジ



スポーツマン登場！

陸上自衛隊 旭川駐屯地

◆北鎮記念館◆

本誌では、道内自衛隊で広報・渉外業務に活躍する隊員を紹介しています。

今回は、陸上自衛隊旭川駐屯地業務隊 平塚 清隆 1等陸尉をご紹介します。平塚 1尉は、昭和49年第9普通科連隊（第2師団）入隊後、第1陸曹教育隊（東千歳）、第25普通科連隊（第2師団）などを経て、平成18年8月から旭川駐屯地「北鎮記念館」の館長を勤めています。

館長に就任以来、常に歴史を正しくありのままに伝えることを念頭に、わかりやすさと聞く人を引きつけるユニークなその解説ぶりが好評を博し、平成19年「国民の自衛官」として表彰されました。平塚館長は「次代を担う若い世代に日本の歴史をしっかりと理解してもらい、それを糧に世界に羽ばたいてほしいです。」と語り、若者に熱い期待を寄せていました。



館長 平塚 清隆 1等陸尉

■旭川駐屯地の沿革

旭川駐屯地は、旧第七師団（明治33年から昭和19年駐屯）練兵跡地に真駒内に創設された第二管区隊が昭和27年旭川に移駐、昭和37年師団改編により第2師団となり今日に至ります。また、旭川駐屯地は今年で駐屯地開設60周年と節目の年でもあります。

■北鎮記念館

後生に伝えるべき資料の散逸を危惧した歴代師団長等の尽力により、北鎮記念館は昭和39年10月旭川駐屯地内に開館しました。その後、展示資料の追加に伴い見学者も増加し、その都度増改築を繰り返した後、平成19年6月、現在の「北鎮記念館」として新築オープンしました。館内には展示資料約3千点を有し、年間約2万3千人が見学に訪れています。開館時間は午前9時半



北鎮記念館

から午後4時まで（毎週月曜休館）入場無料で大型駐車場も完備し、ご希望により説明員がご案内いたします。皆様のご来館を心よりお待ちしております。お問い合わせ：北鎮記念館（0166）51-6111（内線2496）



旭川市長 西川 将人

■旭川市長からの一言

旭川市では明治29年に北海道の開拓と防衛を兼ねた屯田兵を母体に旧帝国陸軍の第7師団が設置され、北の守りを固める北鎮師団として、共にまちを形成してまいりました。

このように駐屯地と地域は、長い歴史と密接な関係で結ばれており、災害派遣等の活動や旭川市を代表するイベントである旭川冬まつりでの大雪像の制作やバーサー・ロペットジャパンのコース整備など、まちづくりにおいても常に中心的な役割を担っていただいております。

こうした中で、第2師団は平成5年より最初のカンボジア派遣をはじめ最近ではハイチやゴラン高原など数多くの国際平和協力活動をされるとともに、東日本大震災の被災地支援の御尽力には、敬意と感謝を表する次第であります。

【旭川市の紹介】

旭川市は石狩川をはじめとする多くの河川が流れ、自然と都市機能が共存する北海道の拠点都市であります。行動展示で注目を集める旭山動物園をはじめとする観光資源を有し国内外から多くの観光客が訪れております。また、市内では彫刻や旭川ゆかりの文学に親しむことができ、音楽活動も盛んな文化の香高いまちでもあります。

毎年6月に開催される北海道音楽大行進は、幼児から社会人までが参加する「音楽のまち」旭川の一大イベントであります。

今回で80回を迎え、全道各地から3,500人を超える参加者など全国屈指の伝統と規模を誇ります。多彩な衣装やユニークなパフォーマンスを行うさまざまな楽団が高らかに演奏しながら行進します。沿道は毎年大観衆で埋めつくされ、旭川では夏の花火大会と並ぶ集客があります。今年6月9日（土）に開催されますので、是非お越し下さい。



北海道音楽大行進

道東の守り 陸上自衛隊第5旅団



あらゆる任務に即応する強靱部隊を目指す!



第5旅団地区内の駐屯分屯地



第5旅団長
陸将補 田口 義則

陸上自衛隊第5旅団は、広大な道東地域の安心と安全を確保するため、災害派遣や国際協力活動等「あらゆる任務に即応できる強靱な第5旅団」を目指し、日々訓練に励み、「時代の風」を意識しながら、「明るく前向きに爽やかに」精進しております。

主な装備・活動状況紹介

陸上自衛隊第5旅団司令部は、北海道帯広市の西南に位置する陸上自衛隊帯広駐屯地に置かれています。北部方面隊隷下旅団として道東の防衛警備・災害派遣・民生協力活動のほか、世界各国で国際貢献活動を行っています。

平成16年3月第5師団から旅団に改編後の主な活動として、平成22年3月ハイチ派遣国際救援隊（第二次隊）派遣、平成23年3月東日本大震災災害派遣などを行っています。



陸自 新帯広庁舎（H23.11）
（第5旅団司令部等の庁舎）

帯広

■ 第4普通科連隊



01式軽対戦車誘導弾



96式装輪装甲車

■ 第5特科隊



75式155mm自走榴弾砲

■ 第5通信隊



衛星単一通信可搬装置

■ 第5後方支援隊



90式戦車を回収する90式戦車回収車

■ 第5施設隊



掩体掘削機

■ 第5高射特科中隊



81式短距離地对空誘導弾装置（短SAM）

■ 第5飛行隊



年初飛行訓練のUH-1（手前）

美幌

■ 第6普通科連隊



南方転地訓練
「市街地戦闘訓練」

別海

■ 第5偵察隊



オートバイ（偵察）

釧路

■ 第27普通科連隊



米国実動訓練
「Rising Warrior V」参加

■ 第5戦車大隊



鹿追

厳冬の然別演習場（鹿追町）を走行する90式戦車

防衛省職員採用北海道管区オープンゼミ

2月17日、北海道防衛局は国家公務員（防衛省職員）を目指している学生らを対象に、北海道管区オープンゼミを開催しました。この催しは、普段見る機会が少ない職場を公開し、防衛省への理解を深めていただくとともに、平成24年度に実施される国家公務員採用一般職試験及び防衛省専門職員採用試験の合格後に、防衛省を希望省庁にさせていただくために行われました。

当日は、学生ら約20名が参加し事前説明を受けた後、事務室（総務部、企画部、調達部）を見学、この後、陸上自衛隊、航空自衛隊及び当局の人事担当者から職場の特色や業務内容等について説明を受け、当局若手職員を交えて意見交換が行われました。



事務室を見学する参加者



2月25日、札幌コンサートホールKitara（小ホール）で、第11音楽隊による室内楽演奏会が開かれました。第1部は、M.アーノルド作曲のクインテットを金管五重奏で開演、続いてサクソフォーンやクラリネットのアンサンブル演奏を披露、第2部はトランペットとトロンボーンの金管二重奏のほか、ホルン四重奏で協奏曲を演奏しました。小雪降る土曜の夜、クラシックの華麗なメロディーは満席の会場（約450名）をつつみました。

5月～6月初旬 道内自衛隊の主なイベント

3月12日現在

開催日	開催場所	イベント名	お問い合わせ	
5月19日(土)	名寄市民会館	名寄駐屯地第24回春のコンサート	名寄駐屯地広報班	01654-3-2137
5月26日(土)	旭川市民文化会館	第2師団音楽まつり	第2師団司令部広報室	0166-51-6111
5月27日(日)	東千歳駐屯地	第7師団創隊57周年及び東千歳駐屯地創立58周年記念行事	第7旅団司令部広報室	0123-23-5131
"	鹿追駐屯地	鹿追駐屯地創立55周年記念行事	鹿追駐屯地広報班	0156-66-2211
6月 3日(日)	真駒内駐屯地	第11旅団創設4周年・真駒内駐屯地開庁58周年記念行事	第11旅団司令部広報室	011-581-3191
6月 9日(土)	札幌市教育文化会館	北部方面音楽隊第66回定期演奏会	北部方面音楽隊	011-581-3191
"	帯広市民文化ホール	第5音楽隊第40回定期演奏会	第5旅団司令部広報室	0155-48-5121
6月10日(日)	旭川駐屯地	第2師団創設62周年及び旭川駐屯地開設60周年記念行事	第2師団司令部広報室	0166-51-6111
"	苗穂分屯地	苗穂分屯地創立60周年及び苗穂支処創立55周年記念行事	苗穂支処総務課総務班	011-711-4251

注：行事予定は都合により延期又は中止される場合がありますので、各部隊等へ御確認願います。

編集後記

4月、風は緩み日ざしは日一日と暖かさを増し雪解けが進みます。この時期、北国の動物達は青く澄み切った空を仰ぎ、新緑に夢を膨らませます。そして人もまた、それぞれの新たな出発に希望を抱き歩み始めます。この春、皆が順調に良いスタートが切れますよう応援したいですね。

